

家庭・地域と共に育もう南っ子

越前市武生南小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ) 6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	83人
授業ボランティア(含:低ボラ)	95人
登下校支援ボランティア	4360人
その他(なし)	0人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

ボルガライスで収穫祭

～郷土と学校に愛着と誇りを～ 5年総合的な学習

11月1日に5年生が収穫祭を行い、越前市が近年PRしているボルガライス作りに挑戦しました。由来を調査する中で、街中で見かけるポスターの絵を本校卒業生が描いたことが分かったり、ボルガラー協会の方から市民中心の取り組みの広がりについての話をお聞きしたり、おいしいボルガライスの作り方を実験したりしました。

さらに、今年度本校は創立111年を迎えましたが、1がずらりと並ぶ縁起の良い期日にちなみ全長11メートルのボルガライスを3本作って並べ、「111」に見立てて、本校の長い歴史を祝うことにしました。当日は、自分たちで田植え・草取り・稲刈りをして収穫した米を調理し、ボルガライスも大変おいしくできあがり、郷土への愛着と関心を深めることができました。10月の学習発表会で6年生が本校の長い歴史を紹介した劇を発表したと併せて、本校への愛着を深め、学校への誇りを意識づける取り組みともなりました。



成果と課題

本校の地域学校協議会は、学校評価・改善過程への参画を主要議題として会議を行っており、保護者・児童アンケート調査用紙の作成や実施後の結果分析の過程において、各委員からさまざまな視点から適切な助言・提言をいただいた。

上記の取り組みにおいても、協議会委員から、ボルガライスへの郷愁と漫画家の池上遼一氏が本校の卒業生であることを聞いたことが契機となっている。地域人材を活用した取り組みや地域をフィールドとした授業を企画する際に、自治振興会、公民館、体育協会、保育園、市児童福祉部局等に直接アクセスし、いつでも助言を求められることができる体制があることは大きな財産である。今後も地域・家庭との連携を深め、本校の教育力を高めていきたい。